



今年は記録的な暖冬と言われ、あちらこちらで黄色い菜の花が満開に咲いていますが、今週になってこの冬一番の寒波が来て、宮崎県内でも雪の降った地域がありました。東中では心配されているインフルエンザの流行もなく、来月初めの県立高校入試をあと2週間にひかえて、3年生がそれぞれの進路の決定に向けて懸命に努力している姿が見られます。



2年生 立志の誓い堂々と

2月18日(火)に本校体育館で、ご来賓や保護者に見守られる中、令和元年度立志式を行いました。

はじめに立志生(2年生103人)を代表して、大坪美咲さんと末廣大祐くん、西河実優さんの3人が「私の決意」を述べました。(下にその文章を紹介します。)

続いて一人一人が、自分で心を込めて書いた決意の文字を掲げながら「立志の決意」を発表しました。どの生徒も、これまでの自分の成長に対して感謝の気持ちや誇りをもつとともに、自己の将来や生き方についての夢や目標を堂々と述べました。最後に全員で「立志の誓い」を唱和しました。

今年度から2学年の行事に変更して、式場の準備から進行、片付けまで、全て2年生主体で取り組みました。最上級生になる4月を前にして、その自覚と決意を新たにするととても有意義な機会となりました。



「私の決意」①：「将来の夢」大坪 美咲 さん

私は将来の夢がまだ決まっていません。でも、人を支えたりする仕事には興味があります。職場体験で保育園に行った時に、園児の身の回りのお世話や遊んだりすることがとてもやりがいのある仕事だと思ったからです。また、さまざまな困りごとを抱えた人が自分らしく暮らせるように支援したいと思ったからです。

人を支える仕事に就くために、まず将来の夢につながる高校に進学し、あきらめない心や責任感、積極性を身に付けたいです。また、職場体験でコミュニケーションがどんなに大切かを学びましたが、私は、まだコミュニケーションを取ることが苦手です。これからいろんな人と話をしたりしてコミュニケーション力を身に付けたいと思います。そして、チームワークも大切にしていきたいと思います。

人を支える仕事はとても幅が広く、どの職場でもさまざまな専門職が協力し合いながら、チームで利用者の生活を考えられています。だから、私もこれから学校行事や委員会の仕事を協力して活動したりしたいです。

このようなことをことを心掛けて、これからの進路をまじめに考え、一步一步、夢に向かって進んでいこうと思います。

新指揮者と伴奏者 頑張っています

3学期から、校歌斉唱時の指揮者とピアノ伴奏者が新しく変わりました。指揮者が右田 翔夢 くん、伴奏者が松本 優さん(共に2年生)です。先日の立志式でも、しっかりと役目を果たしてくれました。回を重ねるごとに二人の息もぴったりと合ってきました。1年間よろしくお願いします。



高鍋町子ども読書まつり

2月1日(土)に町美術館で「子ども読書まつり」が行われました。町内のボランティア「たまごのぼうけん」のお話し実演がありました。

後半は、町内小中学校読書感想文発表会と表彰式があり、東中からは2年生の岩切七樹さんが代表して「青くて痛くて脆い」を読んだ感想として「向き合う強さ」と題して感想文を発表しました。また、読書感想画の特選として、河野成樹くん、野津手桃花さん、内藤比奈さんの3人が表彰されました。

